

## 第5部 お産に関するアンケート調査

### ——褥婦から見た助産婦

#### 1. 母親の年齢 (表5-1)

今回、回答をした母親の年齢は、20代後半が43.7%と最も多く、平均年齢は28.3歳であった。

～19歳	14 ( 1.8)
20～24歳	140 ( 18.1)
25～29歳	338 ( 43.7)
30～34歳	221 ( 28.6)
35～39歳	56 ( 7.2)
40歳以上	2 ( 0.3)
無回答	2 ( 0.3)
合 計	773 (100.0)

また、最年少の母親は17歳であり、最年長の母親は43歳であった。

#### 2. 病院の選択理由 (表5-2)

今回、お産をした病院を選んだ理由としては、「通いやすい病院だから」(44.9%)が最も高い割合であり、次いで「医者の評判がよい病院だから」(42.9%)、「親や知り合いがすすめた病院だから」(40.4%)などの順に割合が高かった。

表5-2 病院の選択理由 (複数回答)

通いやすい病院だから	347 ( 44.9)
医者の評判がよい病院だから	332 ( 42.9)
親や知り合いがすすめた病院だから	312 ( 40.4)
看護婦や助産婦の評判がよい病院だから	261 ( 33.8)
設備が快適な病院だから	252 ( 32.6)
母乳栄養主体の病院だから	121 ( 15.7)
安産体操や呼吸法をきちんと指導してくれる病院だから	115 ( 14.9)
気軽に相談できる雰囲気の病院だから	104 ( 13.5)
母児同室の病院だから	80 ( 10.3)
夫の立ち会いができる病院だから	45 ( 5.8)
ラマーズ法を取り入れている病院だから	36 ( 4.7)
面会が自由な病院だから	17 ( 2.2)
麻酔による痛くないお産ができる病院だから	8 ( 1.0)
計画的なお産ができる病院だから	8 ( 1.0)
その他	243 ( 31.4)
別にこれといった理由はない	17 ( 2.2)
無回答	6 ( 0.8)
回答者数	773 (100.0)

### 3. 病院の助産婦

#### 1) 助産婦の有無 (表5-3)

お産をした病院には助産婦がいるはずだが、「助産婦はいた」と回答している母親は93.8%であり、「いたかどうかわからない」と回答した母親が5.0%いた。

#### 2) 病院の助産婦を知った理由 (表5-4)

病院の助産婦を知った理由としては、「お産前から助産婦がいることを知っていたから」が61.0%と最も多く、「なんとなくわかった」(16.4%)、「助産婦本人が名のったから」(14.6%)の順に多かった。

#### 3) 助産婦がいてどう思ったか (表5-5)

助産婦がいて、「大変よかった」と思った母親が65.1%と最も多く、「よかった」と思った母親と合わせると、85.5%と高い割合であった。

そのように思った理由を自由記述で回答してもらった。内容としては、次の通りである。

「大変よかった」や「よかった」理由として

は、「とても親切で、安心してお産ができた」「陣痛や分娩時にはげましたり、そばにいてくれて、心強かった」「陣痛時に、腰をさするなどしてかれて、とても楽だった」「気軽に相談でき、詳しいことがいろいろ聞けた」「経験や知識が豊富で、何でも教えてもらえてよかった」「赤ちゃんの世話や授乳の指導を充分やってもらった」「適切に呼吸法などの指導をしてくれた」など。

「どちらでもない」理由としては、「あまり親切でなかった」「あまり優しくなかった」「看護婦とあまり変わらなかった」「担当の助産婦が産後一度もこなかった」など。

### 4. 助産婦の仕事に対する認識 (表5-6)

助産婦の仕事は、「お産の介助をする・赤ちゃんをとりあげる」と認識している母親が93.3%と最も多く、次いで「妊娠や出産、産後の生活に対する正しい知識を教える」(83.8%)、「赤ちゃんの世話の仕方などを教える」(74.5%)、「授乳・調乳の仕方を教える」(69.9%)の順であった(複数回答)。

### 5. 受持助産婦

#### 1) 受持助産婦の有無 (表5-7)

受持助産婦が「いなかった」と回答している母

表5-3 助産婦の有無

助産婦はいた	725 (93.8)
助産婦はいない	3 (0.4)
いたかどうかわからない	39 (5.0)
助産婦を知らない	4 (0.5)
無回答	2 (0.3)
合計	773 (100.0)

表5-4 病院の助産婦を知った理由 (複数回答)

お産前から助産婦がいることを知っていたから	442 (61.0)
助産婦本人が名のったから	106 (14.6)
ネームに助産婦〇〇と書いてあったから	97 (13.4)
看護婦と違う制服を着ていたから	60 (8.3)
同じ病室の人から聞いたから	57 (7.9)
なんとなくわかった	119 (16.4)
その他	54 (7.4)
無回答	32 (4.4)
回答者数	725 (100.0)

親は45.7%で、時期は別として受持助産婦が「いた」と回答している母親は17.8%であった。

表5-5 助産婦がいてどう思いましたか

大変よかった	472 ( 65.1)
よかった	148 ( 20.4)
どちらでもない	30 ( 4.1)
よくなかった	0 ( - )
無回答	75 ( 10.3)
合計	725 (100.0)

2) 受持助産婦がいたほうがよいか (表5-8)

受持助産婦がいなかったと回答した母親の中で、受持助産婦がいたほうが「よい」と思っている母親は49.2%で、「いいえ」と回答している母親はわずかに4.5%であった。

3) 受持助産婦がいてどう思ったか (表5-9)

受持助産婦がいたと回答している母親の中で、「大変よかった」と思っている母親は68.8%と最も多く、「よかった」と思っている母親と合わせ

表5-6 助産婦の仕事 (複数回答)

お産の介助をする・赤ちゃんをとりあげる	721 ( 93.3)
妊娠や出産、産後の生活に対する正しい知識を教える	648 ( 83.8)
赤ちゃんの世話の仕方などを教える	576 ( 74.5)
授乳・調乳の仕方を教える	540 ( 69.9)
医者への介助をする	362 ( 46.8)
家族計画の指導	272 ( 35.2)
妊婦の健診	171 ( 22.1)
看護婦と同じ仕事	118 ( 15.3)
その他	16 ( 2.1)
わからない	5 ( 0.6)
無回答	9 ( 1.2)
回答者数	773 (100.0)

表5-7 受持助産婦の有無

病院に通院し始めてから退院まで同じ助産婦が担当していた	22 ( 2.8)
お産で入院した時から退院まで同じ助産婦が担当していた	116 ( 15.0)
いなかった	353 ( 45.7)
わからない	251 ( 32.5)
無回答	31 ( 4.0)
合計	773 (100.0)

表5-8 受持助産婦がいたほうがよいですか

はい	297 ( 49.2)
いいえ	27 ( 4.5)
どちらでもよい	265 ( 43.9)
無回答	15 ( 2.5)
回答者数	604 (100.0)

注) 「いなかった」「わからない」と回答した人のみ

表5-9 受持助産婦がいてどう思いましたか

大変よかった	95 ( 68.8)
よかった	37 ( 26.8)
どちらでもない	3 ( 2.2)
よくなかった	0 ( - )
無回答	3 ( 2.2)
回答者数	138 (100.0)

注) 受持助産婦がいた人のみ

ると、95.7%と高い割合であった。

## 6. 妊娠中のトラブルとその相談相手

### 1) 妊娠中のトラブルの有無 (表5-10)

妊娠中のトラブルとしては、「つわり」が64.6%と最も多く、次いで「下腹がはる」(48.0%)、「便秘」(44.4%)の順であった。

### 2) 妊娠中のトラブルに対する相談相手 (表5-11)

妊娠中のトラブルの相談相手としては「出血」(77.5%)、「下腹がはる」(72.8%)、「貧血」(72.0%)、「便秘」(56.7%)では、「医師」が一番多かった。また、「つわり」(46.5%)や「イライラ」(71.8%)では、母親や姉妹、友人などの「その他」の人が一番多かった。

## 7. 入院中のトラブルとその相談相手

### 1) 入院中のトラブルの有無 (表5-12)

入院中のトラブルとしては、「母乳や授乳のこ

と」が52.4%と最も多く、次いで「傷口が痛んだ」(49.7%)、「便秘」(23.7%)の順に多かった。また、「困ったことはない」と回答している母親が、13.7%いた。

### 2) 入院中のトラブルに対する相談相手 (表5-13)

入院中のトラブルの相談相手としては、「助産婦」が50.6%と最も多く、次いで「看護婦」(48.6%)、「医師」(22.9%)の順であった。

### 3) 入院中のトラブルに対する対応 (表5-14)

入院中のトラブルを相談した後の医師や看護婦の対応としては、「すぐに対応してくれた」と回答している母親が74.6%いた。

## 8. お産に対する不安

### 1) お産に対する不安の程度 (表5-15)

今回のお産に対して、「やや不安であった」母親が58.2%と一番多く、「非常に不安であった」母親と合わせて、86.1%の母親が不安を抱いていた。

### 2) 不安の理由 (表5-16)

不安の理由としては、「赤ちゃんが健康で産まれてくるかどうか心配だったから」が75.5%と最も多かった。次いで「お産に耐えられるかどうか心配だったから」という理由が、54.7%で多かった。

表5-10 妊娠中のトラブル (複数回答)

つわり	499	( 64.6)
下腹がはる	371	( 48.0)
便秘	343	( 44.4)
貧血	289	( 37.4)
出血	253	( 32.7)
イライラ	213	( 27.6)
無回答	25	( 3.2)
回答者数	773	(100.0)

表5-11 妊娠中のトラブルの相談相手 (複数回答)

	医師	看護婦	助産婦	その他	無回答	回答者数
つわり	153 (30.7)	31 ( 6.2)	52 (10.4)	232 (46.5)	73 (14.6)	499 (100.0)
下腹がはる	270 (72.8)	32 ( 8.6)	36 ( 9.7)	61 (16.4)	18 ( 4.9)	371 (100.0)
便秘	195 (56.7)	23 ( 6.7)	33 ( 9.6)	83 (24.2)	31 ( 9.0)	343 (100.0)
貧血	208 (72.0)	21 ( 7.3)	25 ( 8.7)	38 (13.1)	20 ( 6.9)	289 (100.0)
出血	196 (77.5)	27 (10.7)	21 ( 8.3)	24 ( 9.5)	8 ( 3.2)	253 (100.0)
イライラ	11 ( 5.2)	4 ( 1.9)	7 ( 3.3)	153 (71.8)	42 (19.7)	213 (100.0)

注) 妊娠中のトラブルがあった人のみ

3) 不安になった場合の相談相手 (表 5-17)  
不安になった場合の相談相手としては、「夫」

が64.9%と最も多く、次いで「自分の母親」の60.7%、「友人や知人」の57.8%の順であった。

相談相手の中で、最も頼りになる相手としては、「自分の母親」が11.9%と最も多く、次いで「友人や知人」の11.7%、「医師」の11.4%、「夫」の10.8%の順であった。

表 5-12 入院中のトラブルの有無 (複数回答)

母乳や授乳のこと	405	( 52.4)
傷口が痛んだ	384	( 49.7)
便秘	183	( 23.7)
夜泣き	80	( 10.3)
看護婦や助産婦の態度	25	( 3.2)
看護婦や助産婦の不在	13	( 1.7)
その他の困ったこと	70	( 9.1)
困ったことはない	106	( 13.7)
無回答	17	( 2.2)
回答者数	773	(100.0)

## 9. お産の方法

### 1) 今回のお産の方法 (表 5-18)

今回のお産の方法としては、「少し切開をしたお産」が42.8%と最も多く、次いで「自然なお産」(32.3%)、「陣痛促進剤を使ったお産」(26.6%)の順であった。

### 2) したいと思っていたお産の方法 (表 5-19)

母親がしたいと思っていたお産の方法は、「自然なお産」が72.3%と最も多く、次いで「夫立ち会いのお産」(30.0%)、「ラマーズ法のお産」(28.6%)の順であった。

表 5-13 入院中のトラブルの相談相手 (複数回答)

助産婦	391	( 50.6)
看護婦	376	( 48.6)
医師	177	( 22.9)
誰にも話さなかった	51	( 6.6)
その他	31	( 4.0)
無回答	110	( 14.2)
回答者数	773	(100.0)

表 5-14 入院中のトラブルに対する相談相手の対応の仕方

すぐに対応してくれた	577	( 74.6)
何もしてもらえなかった	23	( 3.0)
無回答	173	( 22.4)
合計	773	(100.0)

表 5-15 お産に対する不安の程度

非常に不安であった	216	( 27.9)
やや不安であった	450	( 58.2)
不安はなかった	83	( 10.7)
全く不安はなかった	18	( 2.3)
無回答	6	( 0.8)
合計	773	(100.0)

表 5-16 不安の理由 (複数回答)

赤ちゃんが健康で産まれてくるかどうか心配だったから	503	( 75.5)
お産に耐えられるかどうか心配だったから	364	( 54.7)
つわりがひどかったから	74	( 11.1)
ただなんとなく	32	( 4.8)
その他	75	( 11.3)
無回答	52	( 7.8)
回答者数	666	(100.0)

注) 「非常に不安であった」「やや不安であった」と回答した人のみ

10. 妊娠や出産に関する雑誌や本の購読

1) 雑誌や本の購読の程度 (表 5-20)

妊娠や出産に関する雑誌や本を「時々読んでいた」母親が53.0%と一番多く、「よく読んでいた」と合わせて、90.9%の母親がそれらの雑誌や本を読んでいた。

2) 購読による妊娠や出産の不安の解消 (表 5-21)

そのような雑誌や本を読んで、妊娠や出産に対する不安が解消された母親が36.5%おり、「どちらでもない」と回答している母親46.6%よりも少なかった。

表 5-17 不安になった場合の相談相手

	相談相手 (複数回答)	最も頼りになる相談相手
夫	432 ( 64.9)	72 ( 10.8)
自分の母親	404 ( 60.7)	79 ( 11.9)
友人や知人	385 ( 57.8)	78 ( 11.7)
医師	281 ( 42.2)	76 ( 11.4)
助産婦	210 ( 31.5)	66 ( 9.9)
きょうだい	171 ( 25.7)	24 ( 3.6)
看護婦	147 ( 22.1)	12 ( 1.8)
夫の母親	121 ( 18.2)	7 ( 1.1)
保健婦	24 ( 3.6)	0 ( - )
その他	17 ( 2.6)	2 ( 0.3)
相談する人はいない	5 ( 0.8)	0 ( - )
無回答	138 ( 20.7)	250 ( 37.5)
回答者数	666 (100.0)	666 (100.0)

注)「非常に不安であった」「やや不安であった」と回答した人のみ

表 5-18 今回のお産の方法 (複数回答)

少し切開をしたお産	331 ( 42.8)
自然なお産	250 ( 32.3)
陣痛促進剤使用のお産	206 ( 26.6)
ラマーズ法のお産	101 ( 13.1)
吸引・鉗子使用のお産	81 ( 10.5)
麻酔使用のお産	30 ( 3.9)
その他の方法のお産	16 ( 2.1)
無回答	5 ( 0.6)
回答者数	773 (100.0)

11. 母親学級

1) 母親学級の受講の有無 (表 5-22)

母親学級を「うけた」母親は83.8%で、「うけなかった」母親の15.0%より多かった。

2) うけた場所 (表 5-23)

母親学級を受講した場所としては、「病院」が

表 5-19 したいと思っていたお産の方法 (複数回答)

自然なお産	559 ( 72.3)
夫立ち会いのお産	232 ( 30.0)
ラマーズ法のお産	221 ( 28.6)
麻酔での無痛なお産	76 ( 9.8)
計画的なお産	31 ( 4.0)
自宅でのお産	6 ( 0.8)
その他の方法のお産	10 ( 1.3)
別がない	10 ( 1.3)
無回答	1 ( 0.1)
回答者数	773 (100.0)

表 5-20 妊娠や出産に関する雑誌や本の購読の程度

よく読んでいた	293 ( 37.9)
時々読んでいた	410 ( 53.0)
ほとんど読まなかった	64 ( 8.3)
全く読まなかった	5 ( 0.6)
無回答	1 ( 0.1)
合計	773 (100.0)

表 5-21 購読による妊娠出産の不安の解消

読んで不安を解消	282 ( 36.5)
読んでも解消しない	114 ( 14.7)
どちらでもない	360 ( 46.6)
無回答	17 ( 2.2)
合計	773 (100.0)

表 5-22 母親学級の受講の有無

母親学級をうけた	648 ( 83.8)
母親学級をうけなかった	116 ( 15.0)
無回答	9 ( 1.2)
合計	773 (100.0)

74.5%と最も多かった。

3) 母親学級で教えてもらったことで役立ったこと (表5-24)

母親学級で教えてもらったことで役立ったことは、「お産の仕方について」が66.7%で最も多く、次いで「妊娠中の栄養について」(59.3%)、「妊娠中の生活について」(56.3%)の順であった。

## 12. 病院でのお産に対する満足感

1) 病院でのお産に対する満足感 (表5-25)

今回のお産をした病院に対して、「満足している」母親は86.2%もあり、「不満である」母親はわずか1.9%であった。

2) 不満な理由 (表5-26)

今回のお産をした病院に対しての不満な点とし

ては、「その他」(46.7%)を除くと「陣痛の時誰もいなかった」が40.0%で一番多かった。次いで「お産がつかった」(26.7%)、「自分の希望のお産ではなかった」(20.0%)の順であった。

## 13. 次子の出産場所 (表5-27)

次子を出産する場所としては、「今回と同じ病院」を選ぶ母親が71.0%おり、一番多かったが、26.9%の母親が「わからない」と答えていた。

## 14. 病院の看護婦や助産婦、お産に対する意見

病院の看護婦や助産婦に望むことや、お産に対する意見がある母親は216名(27.9%)いた。それらの内容は、「担当の助産婦がいてほしい」が

表5-23 母親学級の受講場所 (複数回答)

病 院	483 ( 74.5)
保健所・市町村など	169 ( 26.1)
その他の受講場所	6 ( 0.9)
無 回 答	121 ( 18.7)
回答者数	648 (100.0)

注) 「母親学級をうけた」と回答した人のみ

表5-24 母親学級で教えてもらったことで役立ったこと (複数回答)

お産の仕方について	432 ( 66.7)
妊娠中の栄養について	384 ( 59.3)
妊娠中の生活について	365 ( 56.3)
乳房マッサージ	260 ( 40.1)
赤ちゃんの世話の仕方	156 ( 24.1)
産後の生活について	118 ( 18.2)
調乳・授乳の方法	85 ( 13.1)
家族計画	67 ( 10.3)
そ の 他	24 ( 3.7)
ほとんど役に立たなかった	3 ( 0.5)
無 回 答	117 ( 18.1)
回答者数	648 (100.0)

注) 「母親学級をうけた」と回答した人のみ

表5-25 病院でのお産に対する満足感

満足している	666 ( 86.2)
どちらともいえない	88 ( 11.4)
不満である	15 ( 1.9)
無 回 答	4 ( 0.5)
合 計	773 (100.0)

表5-26 不満な理由 (複数回答)

陣痛の時誰もいなかった	6 ( 40.0)
お産がつかった	4 ( 26.7)
自分の希望のお産ではなかった	3 ( 20.0)
お産の時にしかられた	1 ( 6.7)
医師がお産に立ち会わなかった	1 ( 6.7)
その他の不満理由	7 ( 46.7)
回答者数	15 (100.0)

注) 「不満である」と回答した人のみ

表5-27 次子の出産場所

今回と同じ病院	549 ( 71.0)
わからない	208 ( 26.9)
他の病院にする	12 ( 1.6)
無 回 答	4 ( 0.5)
合 計	773 (100.0)

多く、その他としては、次の通りである。

- ・看護婦と助産婦の区別がわからないので、わかるようにしてほしい。
- ・助産婦や看護婦が忙しそうにしているので声をかけにくい。
- ・妊婦の不安な態度を解消するような態度で接してほしい。
- ・助産婦の態度が冷たく機械的である。
- ・助産婦によって態度や対応の仕方が違う。
- ・夫の立ち会いができればよいと思った。
- ・分娩室に1人でほうっておかれた。
- ・陣痛時に、もっと面倒をみてほしい。
- ・呼吸法を適切に指導してほしい。
- ・せめて、出産時までは同じ助産婦がいてほしい。
- ・もっと産むほうの身になってほしい。
- ・母乳ばかりでなく、どちらも選べるように指導してほしい。
- ・もっと乳房マッサージや授乳指導をしてほしい。
- ・もっと退院後の赤ちゃんの世話の指導をしてほしい。